

マンダムは、1958年にフィリピンマニラ市に海外事業の第一歩となる丹頂コーポレーションを設立して以来、アジアを中心に事業を展開してきました。その過程において、それぞれの国・エリアなどにおける価値観を理解しながら、より生活者に満足いただけるように、経済力や嗜好性などに合わせたさまざまな商品群をお届けしています。

現在、マンダムでは、日本・インドネシア・中国の3拠点に4工場を持ち、各エリアそれぞれの生活者の特性に合わせた化粧品等を生産・供給しています。

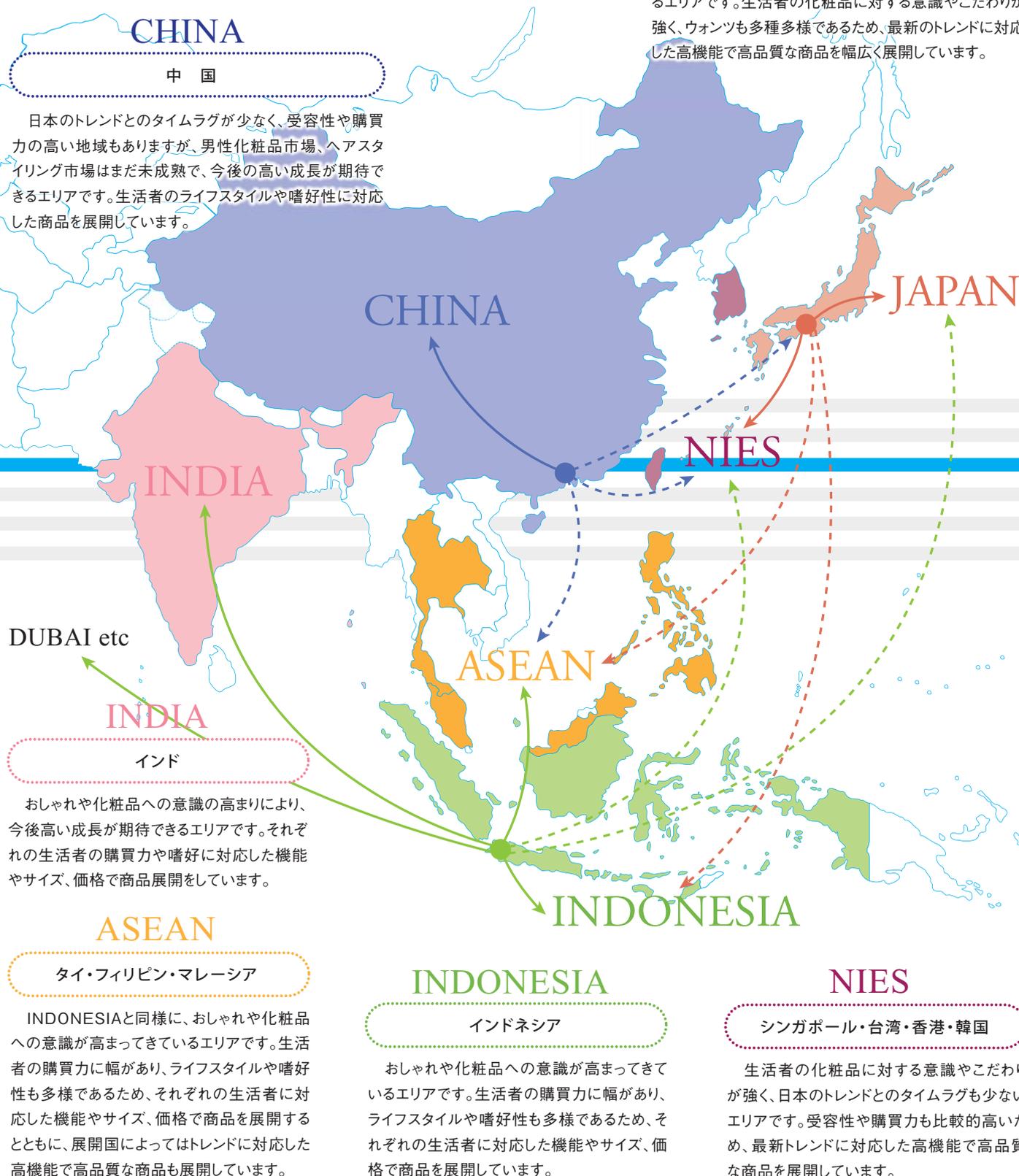
この特集では、今後さらに成長していくアジア市場において、生活者の変化にスピーディに対応できるキャパシティを有するマンダムの生産・供給体制についてご紹介していきます。

特集



1. 生産・供給体制とエリアの特性

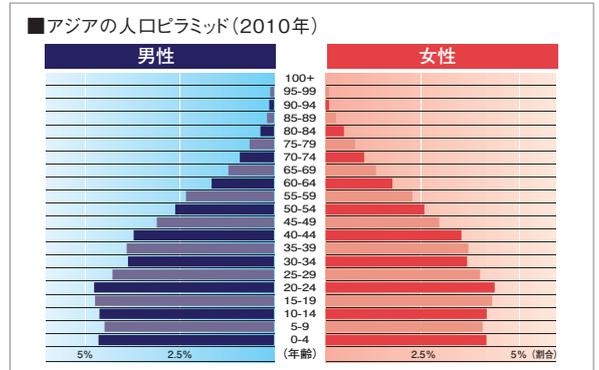
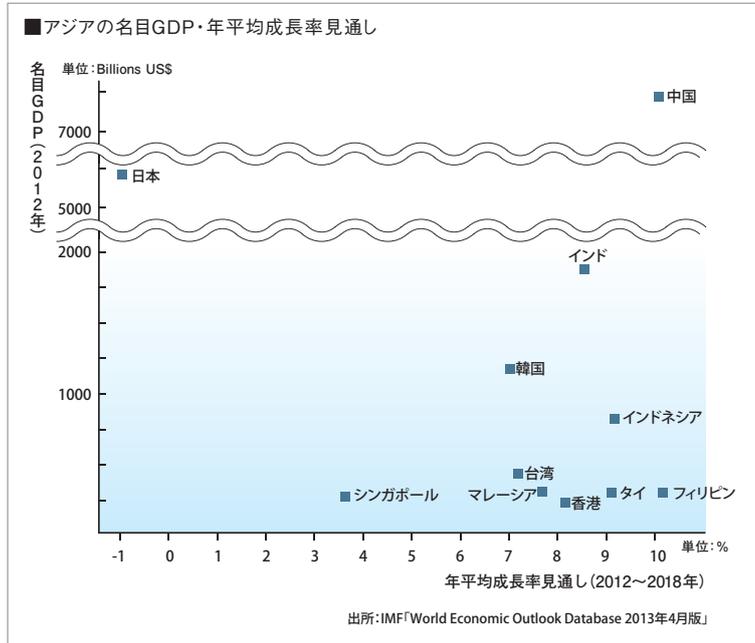
マンドムでは、日本・インドネシア・中国にある3拠点4工場から、年間約10億個の化粧品等を生産、出荷しています。マーケットの経済状況やそれぞれの生活者の嗜好性やライフスタイル、購買力などに合わせて6つの戦略エリアに区分し、それぞれの特性に合わせて、有機的に生産・供給を行なっています。



2. 成長著しいアジア市場

マンダムが主に展開しているアジア市場は、現在急速な経済成長を遂げています。

また、人口ボーナス期を迎えつつあり、今後世界の中でも、最も成長を牽引するエリアとして経済・市場規模のさらなる拡大が予想されます。



アジアの化粧品市場においては、経済成長に伴う化粧品需要の増加に加え、購買力の向上やライフスタイルや嗜好性の変化により、展開する商品の価格上昇や機能・品質の向上による成長が見込まれます。このような中、マンダムでは、化粧品需要の増加や、求められる機能や品質の向上に対応できる生産・供給体制の構築を目指しています。

3. マンダムの目指す生産・供給体制

(1) マンダムの目指す生産・供給体制

マンダムは、成長市場であり変化の早いアジアにおける展開に対応できる生産・供給体制の構築を目指しています。アジア各国の市場はばらつきが大きく、JAPANエリアのように生活者の化粧品意識や購買力が高く、高機能で高品質な商品を展開するエリアもあれば、ASEANエリアのように生活者のおしゃれ意識は向上してきたものの、生活者の購買力に幅があり、ライフスタイルに対応した機能やサイズ、価格の商品を幅広く展開しているエリアもあります。

それぞれの市場が成長していく過程において、競争激化や生活者の購買力や嗜好性の変化に伴う商品構成の変化などが起こり、それに合わせた生産・供給体制の構築が必要になってきます。

そこでマンダムでは、今後の成長や競争激化が見込まれるアジア市場に対応して、生産数量の増加や価格・品質における競争にフレキシブルに対応し、生産各拠点のシナジーが発揮できる生産・供給体制の構築を目指しています。

(2) 目指す生産・供給体制に向けた対応

マンダムは、2014年3月期に、アジアでの展開に対応する生産・供給体制の構築に向け、福崎工場および新チビトン工場において設備投資を実施します。

福崎工場では、日本における市場ニーズの変化やアジア各国の所得水準の向上に伴う、高機能で高品質な商品需要の増加に対応します。また、スター工場は新チビトン工場に移転し、需要の拡大に伴う生産数量の増加に加え、より安定した品質の商品を低価格で提供できる生産体制を整備していきます。

今後、各国の経済環境、生活者のニーズ・ウォンツに迅速かつフレキシブルに対応できるように、生産戦略を適宜構築、実施していきます。

福崎工場(日本)

高度な生産技術、最新の設備を有しており、日本の最新トレンド、生活者ウォンツに対応し、高機能で高品質な商品を生産しています。主に、JAPAN、NIESエリアに商品を生産しています。

高品質な商品を安定的に大量生産できる量産化技術や、中味の充填から仕上げ・梱包までの一貫生産体制を構築しています。また、エアゾール製品やペーパー製品などの生産ラインを持つなど、価格競争における優位性を保持しています。

市場ニーズの変化にフレキシブルに対応できる生産体制のなか、高品質な商品を生産できる生産技術革新が継続でき、かつ、マンダムのマザーファクトリーとして、グループの生産拠点に対して技術革新支援ができる工場を目指します。

●敷地面積71,058㎡、年間生産数量150百万個※



中山工場(中国)

日本の開発・生産のノウハウにより、同様の品質で主力商品を製造しています。主にCHINAエリアの商品を生産するとともにグループの生産補完も担っています。

今後、大幅に伸びると予想される中国市場に対し、市場攻略に向けた商品戦略に対応できる工場を目指します。

●敷地面積27,253㎡、年間生産数量12百万個※



ススター工場(インドネシア)

効率的な生産体制と物流体制により、品質・価格両面で優位性を発揮しています。主に、INDONESIA、ASEAN、INDIAエリアに商品を生産するとともに、貿易事業によりその他エリアにも商品を生産しています。

マンダムで最大規模を誇るススター工場は、多品種少量生産が可能な工場設計で、アジアにおける各国の商品展開を支える供給を行なっています。

アジア全体への商品供給を見据えた生産センターとして、生活者の多様なウォンツに対応できる商品群を、より安定した品質で低価格に生産できる工場を目指します。

●敷地面積36,153㎡、年間生産数量782百万個※



チビトン工場(インドネシア)

容器成型工場として、品質・価格の両面で優位性を発揮しています。主にインドネシア・ススター工場で生産する製品の容器を製造しています。

化粧品製造業としては珍しい容器成型工場を保有することにより、容器の品質向上とコストダウンを追求するとともに、包材の安定供給や、生産対応の柔軟化にもつながっています。

●敷地面積54,422㎡



※年間生産数量は、2013年3月期実績です。